

1章 教育リソースのデジタル化の発展と利活用

第1章では、先生方のこれまでの教育リソースの活用について考えていきたい。

第1章～第7章は、教育リソースとして、どのように各種の資料を集め、記録し、管理・流通に発展させてきたかを示す。また、そのプロセスでの教育実践での活用例を簡単に説明する。

<メモ>戦後、教育資料の収集・管理・流通の必要性を書いたのは、“木田宏（昭和24年）新教育と教科書制度、実業教育”である。

（戦後の混乱期に連合軍の司令部から学習指導要領をまず作り、それをもとに各社で教科書の編集・出版をせよとの指示で、各種の資料がなく、教科書の編集に困られた。）

1. 教育リソースのデジタル化の発展と利活用

1. 教育リソースのデジタル化の発展と利活用

1—1. 木田宏氏の教育リソースの必要性の指摘

1—2. 教育リソースの資料管理の構成

1—2—1. 保管する資料の例(先生方の教育関係機関に存在する例を示せ)

1—3. データの基本的な構成

1—4. どのような使い方がされてきたか、また今後されるか

1. 教育リソースのデジタル化の発展と利活用

1-1. 木田宏氏の教育リソースの必要性の指摘

教育リソース (resource) は、教育に関する資源・資料として古くから用いられてきたが、戦後、最初に教育資料の収集・管理・流通の必要性を指摘したのは、木田宏氏である。木田宏氏は、我が国の敗戦後、文部省に入省されて、教科書担当をされ、そのとき、連合軍の司令部から courses of studies を作り、これをもとに希望する者が教科書を作れとの指示を受け、戦後の混乱期に教科書作成を担当された。この経験から木田宏 (1942) 新教育と教科書制度、実業教育の最後の章に、教育資料の収集・記録・管理・流通の必要性を指摘された。

そこでは、世界の民話やグラフ (各種統計資料) 等が文部省に行けば、すぐに提供され、教科書作りに役立てられるようにすべきだと指摘されている。現在の教材データベース (教育リソース) に対応する考えをもっておられた。資料の収集・管理の重要性をよく話されていた。(国立教育研究所の教育情報センターの設立や教育情報学会の設立にも努力された。)

木田宏氏の教育リソースの収集・記録・管理・流通の必要性の指摘の約 20 年後の 1960 年代になり、教育リソースのデジタル化の実践研究が始まりだした。

参考資料 木田宏 (1942) 新教育と教科書制度、実業教育、courses of studies を学習指導要領と訳された。(学習を指導する要領として)

1. 教育リソースのデジタル化の発展と利活用

1－2. 教育リソースの資料管理の構成

教育リソースに記録・管理される資料についてどのような資料があるか、検討し、次に具体例を簡単に説明せよ。

1－2－1. 保管する資料の例（先生方の教育関係機関に存在する例を示せ）

（1） 教育研究資料

（2） 教育実践研究資料

（3） 学習指導に関する資料

（4） 学習指導計画に関する資料

（5） 教材・学習材

1. 教育リソースのデジタル化の発展と利活用

(6) 評価に関する資料

(7) カリキュラム資料

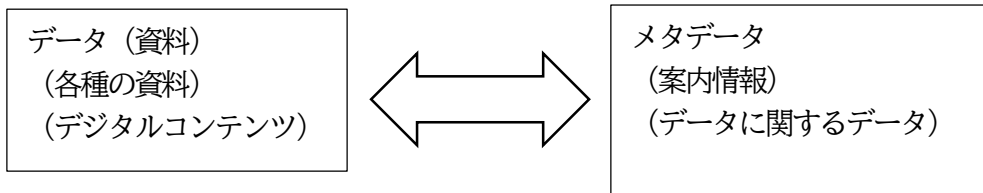
(8) 素材（地域資料等）

(9) 学習コースの保管

(注) 現在の個別学習の自動化では、次のような資料の保管も重要になってきた。

1. 教育リソースのデジタル化の発展と利活用

(1) データの基本的な構成



(2) なぜ、メタデータが必要か(Data about Data)

Q. どのような項目で構成するとよいか考えるか(各自で考える)

(3) サムネイルとは

1. 教育リソースのデジタル化の発展と利活用

1—4. どのような使い方がされてきたか、また今後されるか

(1) 教育課程の構成……学習指導要領

木田宏氏「学習指導要領の作成（発表・提供）には、しっかりしたエビデンスを付けるべきであろう」とよく言われていた。

(2) 教科書の作成

(3) 学校、クラスの学習指導

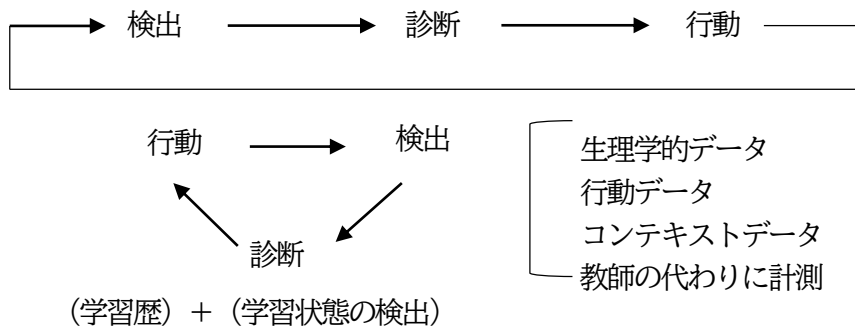
(4) クラス、個別学習での柔軟な教育課程の開発

(5) 一人一人の個に適した教材の提供

(6) 一人一人に適した学習コースの決定（個に適した柔軟なカリキュラム）

1. 教育リソースのデジタル化の発展と利活用

- (7) 個別学習の自動化（OECD の個別学習の自動化のレベル0～5での検出について検討せよ。）



- (8) 主体的な学び（ソースの必要性）

- (9) 教育課程の柔軟性（個別学習の柔軟な学習コース）

（教育リソースの学習のためには、まず基本的な事項について学習し整理されたい。）

（注）学習指導要領

- ・地域での柔軟なカリキュラムの作成
- ・学校での柔軟なカリキュラムの構成
- ・個別学習での柔軟な学習コースの構成

研究機関、教育センター、教育委員会による地域のカリキュラム資料の提供